学校番号	３２４

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	2	年次	3
使用教科書	新日本史Ａ　新訂版（実教出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の近現代の歴史の特徴を捉える。
・日本の近現代の歴史の連続性を捉える。
・学んだ日本の近現代の歴史から現代の日本のあり方・諸課題を考察する。

2 学習の到達目標

・諸資料に親しみ、それらを通して、歴史的思考力を培うことができる。
・日本の近現代史学習を通して現代の諸課題を歴史的観点から考察することができる。
・日本の近現代史を、日本の地理的条件や諸外国との交流、各時代の文化と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	日本の近現代の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	レポート（夏季休業中の課題）	定期考査 ワークシート（各単元終了時）	定期考査 レポート（冬期休業中の課題）	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 振り返りシート
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代国家と社会の形成	・世界と東アジア ・近代国家の誕生と明治日本	○ 	 ○	 ○	○ ○	a:世界と東アジア、日本の歴史に関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の近現代史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	大日本帝国とデモクラシー	・日清戦争と日露戦争 ・帝国形成期とデモクラシー	○ ○	○ 	 ○	○ ○	a:日清・日露戦争による対外関係の変化や、デモクラシーの変遷について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:日清・日露戦争期の東アジアやデモクラシーの特質を見いだし、文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:二つの戦争やデモクラシーについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
2学期	帝国の変容と第二次世界大戦	・帝国の変容 ・日中15年戦争 ・太平洋戦争	○ ○ 	 ○	 ○	○ ○ ○	a:大日本帝国の変容などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:第二次世界大戦期の特質を見いだし、日本の動向に関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:大日本帝国の変容や第二次世界大戦についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	現代日本の源流と冷戦	・戦後世界と日本 ・冷戦と日米安保体制 ・高度経済成長期の日本 ・日本の経済大国化	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:戦後世界や日本の状況、冷戦体制などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:戦後世界から日本の経済大国化への変化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代の政治機構や文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定時代の基本的な事柄を戦後世界に関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
3学期	現代の日本	・転換した世界の仕組み ・現代日本の課題 ・21世紀日本の課題	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ 	a:現代日本などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:時代の変化・社会の変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代日本と世界との関わり・文化などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:現代日本の基本的な事柄や、海外との関わりについての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。